



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：ナジーフ首相のロシア訪問

(11月11日付現地各紙)

1. プーチン首相との会談

(1) 11日、ナジーフ首相はモスクワでプーチンロシア首相と会談し、二国間関係の強化に関するメドヴェージェフ・ロシア大統領及びプーチン・同国首相に対するムバーラク大統領のメッセージを伝えると共に、相互に関心を持つ諸問題や二国間の経済及び投資協力の強化に向けた方策などについて話し合った。又、両首脳はエネルギー、石油、天然ガス、工業分野を中心とするプロジェクトにおける将来的な協力について話し合った。

(2) ナジーフ首相は、エジプトの原子力計画に対するロシアの支援を求めた。同首相は、例として、ロシアがエジプトの原子力発電所建設に貢献し、その後原子力発電所の運営・管理における人材育成を行なう可能性について提案した。同首相は、記者団に対し、原子力分野におけるエジプトとの取り組みに対するロシアの意欲を感じたと伝えた。プーチン首相は、実際に原子力エネルギーの平和利用に関する協定の作成を促した。

(3) 両首脳は、ボルグ・エル・アラブにあるロシア工業団地の設立及び道路、運輸、港湾等のプロジェクトを含むインフラ事業へのロシア企業の参加促進策について話し合った。

(4) 11日、エジプトとロシアは、観光分野における2009-2010年協力プログラムに署名した。本協定は、年間200万人に達すると見られるロシア人のエジプト訪問者数を更に増加させることを目的としている。

2. エジプト・ロシアビジネス・フォーラムへの出席

(1) 12日、ナジーフ首相は、天然ガス分野で活動するロシア大手企業関係者と会談し、エジプトでの石油、天然ガス、鉄道、空港、港湾分野での協力拡大に向けた方策を話し合った。

(2) ナジーフ首相はモスクワで開催された「エジプト・ロシアビジネス・フォーラム」で次の通り述べた(概要)。又、同フォーラムで両国は、天然ガスの探鉱、生産及び流通、及び鉱業分野での協力に関する2件の契約を調印した。

A. エジプト政府は、より多くの投資誘致に向けたエジプトの取り組みに関し、あらゆる経済問題に対処する経済改革プログラムを実施している。同取り組みは、4年前には21億ドルしかなかった外国直接投資が2007-2008年度には132億ドルに増加したことに繋がった。ロシア財界人による更なるエジプトへの投資増加及びエジプト企業との合同プロジェクトの設立を望んでいる。

B. エジプトは、力強い経済及び金融改革により、現在の世界金融危機による直接の影響を受けていない。エジプトは、投機を行うのではなく、インフラや製造プロジェクトへ投資を行っており力強い。現在の金融危機は、エジプトが7%という高成長を達成した直後でもあり、エジプト・ロシア両国の協力を高める好機である。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799